

高校生からの生の声 寄せられる

匝瑳市と高校生が力を合わせていけるきっかけに。今後のまちづくりの参考とするため若い世代からの意見を直接聞く「匝瑳市と高校生の意見交換会」を11月17日に開催しました。生徒たちからは、彼らが「今」感じている思いが幅広く寄せられました。

市

内にある県立匝瑳高等学校と敬愛大学八日市場高等学校の生徒数は、両校合わせて約1500人。毎日多くの若者が本市に通学していますが、こうした若者からの率直な意見を伺うため、太田市長と高校生とが顔を合わせ、意見を交える場を設けました。

日常の生活や通学時に感じていること、他の生徒から寄せられた意見などを一言ずつ丁寧に市長に伝えました。

開催に当たり市長が「市と高校生の皆さんが、将来にわたって力を合わせていくことができるきっかけに」と話し、「市の良い点、悪い点について率直な意見を交換できれば」とあいさつ。続いて、生徒たちが一人ずつ、暗い道への外灯整備や八日市場駅前の見回り強化といった通学環境の改善要望、交通事故の減少に向けた改善策、まちづくりの一段としての「学校と地域の交流イベント」の開催といった提案など、高校生ならではの意見を発表し、これに応える形で市の状況を交えた回答が市長からなされると、皆真剣な眼差しで耳を傾けていました。

意

意見交換会には、生徒会活動やボランティア活動を行っている生徒が両校から各5人、計10人が出席し、



①日ごろの思いを直接市長へ伝える②意見交換会に参加した生徒ら③真剣な眼差しで市長の回答を受け止める

地域と行政のパイプ役 区長会との座談会 を開催

“地域と行政のパイプ役”となる区長会との「まちづくり座談会」を10月7日に開催しました。

座談会は、広聴活動の一環で、団体などが主催する座談会に市長が出席し、まちづくりに関する意見や提言について直接伺うもので、区長会との座談会は平成26年度以降毎年開催。今年度は「地域の活性化」をテーマに、空き家対策や耕作放棄地の活用、産業発展などの視点から活発な意見や提言が寄せられました(=写真)。



《主な意見・提言》

▶通学路を中心とした市道の管理と整備について、総点検を実施し危険性を把握すべきでは。また、道路にはみ出している木の枝葉などの伐採管理を土地所有者へ連絡するとともに、所有者が高齢化などで困難な場合は調整を図ってほしい。

▶空き家や耕作放棄地が目立つ一方、古民家での生活を希望する若い世代や定年退職後の田舎暮らし希望者が都会にはいる。こうした人たちに空き家や農地を貸し出して継続的に滞在できる“モデルケース”を示し、移住・定住につなげていったらどうか。地域にスムーズに溶け込めるよう、コーディネーター的役割の人がいると良いのではないかと。

▶匠瑤市の良さを外部へアピールするのに、国道沿いの入りやすい場所に“道の駅”を整備することは有効な手段であると考えているが、市としてはどうか。

▶地域の活性化にはPRが重要と考えるが、市としては目標とするイメージをどのように持っているか。

▶九十九里海岸沿いは侵食の影響で砂浜が減少している。侵食対策を実施する際は、地元に対して早めに情報提供をしてほしい。また、砂浜ができる工法を検討してほしい。



匠瑤高2年
丸山絵美里さん(椿)

「まちづくりにたくさんの方が関わっていることが分かりました。初めての場で緊張したけれども、いい経験になりました」



匠瑤高2年
飯島紘夢さん(富岡)

「生徒会代表として参加しました。今までに思っていたこと、伝えたいなと思っていたことが今回伝えられたかなと思います」



敬愛大八日市場高3年
小池拓明さん(上谷中)

「楽しかったです。自分の思っていたことがちゃんと伝わっているのがすぐに分かるので、こういう場はいいなと思いました」

高校生からの主な意見と市長の回答(要旨)

※意見内容と発言者。「⇒」は市長の回答

■下校時、道幅が狭く、暗くて通りづらいところもある。裏路地など暗い箇所に外灯を付けてほしい[匠瑤高・飯島紘夢さん] ■道幅が狭いところやカーブなどで怖い経験をしたことがある。暗くなって自転車に乗っていると危ないこともあるので、外灯を増やしてほしい[敬愛大八日市場高・小池拓明さん]

⇒ 防犯・事故防止のため地元要望に基づいて防犯灯を設置している。把握しきれないところもあるので、通学時に気付いた場所があれば市へ話をしてほしい。交通安全についても注意を払い、警察などに強く要望したい。

■八日市場駅を利用するが、特に下校時に駅前でたばこを吸ったり、けんかしたりしている学生が多いと感じる。また、無断駐輪されている自転車もある。パトロールを強化してほしい[敬愛大八日市場高・萩原奈津美さん]

■駅前でたばこを吸っている人が多いので喫煙所を設置してほしい。夜になると駅前の雰囲気が悪くなるので、パトロールなどをしてほしい[匠瑤高・内田悠貴さん]

⇒ “まちなか”となる駅前の環境は良くしたい。たむろする少年や放置自転車、けんか、喫煙マナーの問題など、改めて警察にパトロール強化をお願いする。また、放置自転車問題には、自転車所有者に預り所利用の協力を求めたい。適切な喫煙についても努力したい。

■学校前の道路は冠水することが多く、側溝にごみがつまることが原因と思う。ボランティアを募り掃除をしてはどうか[敬愛大八日市場高・榊原未景さん]

■部活動で定期的なごみ拾いを行っているが、池端の池の植物が伸びてごみを拾うことが困難。臭いもきついで整備してほしい。池の水が汚れる原因に“カモへの餌やり”があると思うので、禁止を呼びかける看板を設置してほしい。自分たちでは拾いきれないごみの回収を要望したい[匠瑤高・小川あかりさん]

⇒ 側溝の泥上げやごみ拾いは、地元の方々のボランティアにより、それでも足りない場合に市が協力して実施している。引き続き互いに協力していきたい。池端は付近からの排水や雨水がたまりやすく、浚せつにも課題があ

るため、可能な範囲で通行人の気持ちと和らぐような整備をしたい。看板の設置も考えたい。

■家庭ごみの出し方が、道路脇に寄せてあったりネットが掛けられているだけだったりして、見て気持ちの良いものでなく通学の妨げにもなっている。ごみボックスを作るなどの対策を要望したい[匠瑤高・小林真尋さん]

⇒ ごみステーションは、利用者の協力により管理・運用をしている。利用者との協議しながら、歩行に支障がないごみステーションにしていきたい。

■市内で交通事故率が高いと感じている。市では、11月に高齢者向け交通安全教室が実施されたようである。こうした活動が続けることで事故は減ると思う。年末に向けて、匠瑤警察署や交通安全パトロール隊と協力し、パトロール強化をお願いしたい[敬愛大八日市場高・鎌形健人さん]

⇒ 学校、警察、道路管理者などが連携して点検や現地診断、子どもや高齢者向けの各種教室・講習会も行っているところであり、あらゆる機関と協力して交通事故数・死者数を減らしていきたい。

■市内循環バスを利用することがあるが下校時間に合う便がない。登下校で利用できるようにしてほしい[匠瑤高・丸山絵美里さん]

⇒ 通学に関係する便は、朝、夕それぞれで駅に通じるようにしている。利用者の皆さんの要望を全てかなえることは難しい面もあり、協力をいただきながら運用している。

■少子高齢化に伴うまちづくりに関して、買い物弱者への支援をお願いしたい。また、学校と地域との関わりが少ないので、地域の人たちとの関係が深まるようなイベントを開催してほしい[敬愛大八日市場高・小林海斗さん]

⇒ 買い物弱者支援として「宅配便利帳」の作成などを行っているが足りない面もあると思う。介護、医療、住まい、生活支援にわたり努力していきたい。また、学校と地域のコミュニケーションの場を作っていけるようにしたい。学校からの要望があれば積極的に取り組ませていただきたい。